



▶ 分列行進で勇姿を披露

新春を飾る恒例行事として親しまれている消防出初式。防災への思いを新たにし、消防団の士気の高揚を図ろうと、1月14日に町運動広場で行われました。

昨年は、機構改革により班の統合や災害時の出動範囲が見直され、さらなる活動体制

隊訓練、徒歩部隊分列行進、一斉放水などを披露しました。

高橋団長から「消防の重要性を深く認識し、新たな決意をもって本町の防災活動に一層精進してほしい」と訓示。また、消防活動への功労者に対して各表彰が行われました(敬称略)。

千葉県知事表彰
功労章 北田宏彦、関谷光一、田修

千葉県消防協会会長表彰
功労章 高浦則行、吉野重利

防災の決意を新たに

消防出初式を挙行

が確保された町消防団。その団員総勢374人が自らの地域は自らで守るといふ精神を胸に、多くの来賓が見守る中、整列。堀内町長を先頭にした団旗入場から始まり、第1分団による小隊訓練、第2分団、第3分団、第4分団による中隊訓練、徒歩部隊分列行進、一斉放水などを披露しました。



雨の中行われた一斉放水

加藤史郎、錦織松一
精勳章 鶴岡一人、安川博章、中台睦、加藤宏巳、伊藤克己、武田修、中村利光、内山徹、石田武雄

防災対策監表彰
北田尚史、吉井章、行方建夫、伊藤通章、中村成秀、十枝博光、牧野弘一、高山弘一、飛田修

千葉県消防協会山武支部長表彰
功労章 佐久間康夫、加藤知良、岡本光弘、金坂勇

精勳章 片岡隆、中村守、浅岡勉、高根一行、吉田崇亜、佐久間祐丞

町長表彰
四之宮克成、長谷川聡彦、齊藤康弘、平賀幸治、林克也、富塚裕行、中村雅企、北奥広一、糸日谷学、川戸章光、片岡義雄、積田和久、三枝洋一、大久保浩之

消防協力者感謝状(消火協力)
瑞穂13区(代表…足立安司区長)、フードプラザハヤシ大網店(代表…土岐和彦店長)、太原康幸(富田)、松崎正由(北今泉)、松崎君子(北今泉)

内助の功感謝状
北田幸子(第3分団分団長夫人)、関谷清美(第1分団分団長夫人)、加藤薫(第1分団分団長夫人)

平成16年度退団者感謝状
齋藤重幸ほか80名

山武地域医療センターの実現に向けて

シンポジウムを開催



医療過疎といわれている山武地域。この現状を改善し、十分な医療サービスを受けることができるように、地域が一体となり、この問題を考えていきたいと思います。

いつでも安心して利用できる医療環境を目指し、山武地域医療センターの検討が進められています。医療センターの実現に向けて、地域住民の理解促進や意見交換を図るため、シンポジウムを開催します。

日時 2月18日(土) 14時～16時
会場 東金文化会館小ホール

内容 医療センター実現に向けた取り組み、パネルディスカッション、意見交換会
募集人数 先着350人
その他 質問・意見のある方は、その要旨を書いて、2月13日(月)までに郵送または送信してください(電話不可)。
申・問 千283 0063
東金市堀上360 2
山武郡市広域行政組合企画課医療センター推進室
☎ 06661
FAX 06662
✉ mcp@sanhukouiki-chiba.jp

町のホームページにバナー広告を掲載しませんか

町では、町のホームページに掲載するバナー広告を募集しています。

掲載時期 4月1日～
1カ月単位で最大12カ月まで掲載できます
掲載位置 トップページの町が指定した場所
規格 縦60ピクセル×横120ピクセル
GIFまたはJPEG形式(動画は不可)
料金 町内に事業所等のある方 月額6千円
町外に事業所等のある方 月額1万円
募集枠 6枠
申込方法 申込書に必要事項をご記入の上、企画政策課まで申し込んでください。
申込書は、町ホームページからダウンロードできます
<http://www.town.oamishiras.atochiba.jp/>
申込締切 3月8日(水)
詳細については、町ホームページをご覧ください
申・問 企画政策課 推進係 ☎ 0317



歯科衛生士 だより

歯っぴーライフ

～おしゃぶりはほどほどに～



乳幼児のおしゃぶりについて、一日中、口に入れたままいるなど誤った使い方が見られるため、育児用品会社が商品に注意表示を盛り込む検討を進めているといえます。

長時間使うと歯並びが悪くなる恐れもあると、専門家が指摘したことなどを、「あごや口の発達を促す」など長所のみを強調してきた表示が見直されることになりました。

国内で販売されているおしゃぶりの使用法については、主に「乳幼児期に口を閉じて鼻で呼吸する習慣をつける」、「あごの幅を広げ歯の発育をサポートする」などと説明されています。しかし、実際には寝かしつけや外出先でぐずったときなど、子どもを静かにさせる目的で使われることが多く見られます。

育児ストレスの軽減という利点もある一方で、極端な使い方により歯並びが乱れるマイナス面も報告されているのです。

東京歯科大の米津卓郎講師の調査では、おしゃぶりを常用している子どもに開咬(前歯の上と下が開いてしまう)が現れる率は、1歳半で31%、2歳で63%、3歳で78%と、使用しない子どもより高いという結果が出ています。

これまでおしゃぶりには「何歳まで」といった年齢の制限や1日の使用時間の限度などは、表示されていませんでした。

しかし、昨年2月、小児科医や小児歯科医が作る委員会が、長時間使うと歯の噛み合わせを悪くする、親の言葉かけなどコミュニケーションの機会が減るなどとして「1歳前後で常用しないようにし、遅くとも2歳半までにやめましょう」という見解をまとめています。(読売新聞2005年12月2日参考)

おしゃぶりは、慎重に使用するよう心掛けてください。

大網病院だより

骨粗鬆症のおはなし 食事

骨は絶えず活発な新陳代謝をしています。身体の細胞と同じで、丈夫でしなやかな骨を保つためには、古い骨を壊し、絶えず新しい骨に作り変える必要があるのです。

ところが骨のもとになるカルシウムの摂取が不足したり、身体が老化して骨をつくるためのホルモンが不足したりすると、骨をつくる量よりも骨を壊す量の方が多くなります。こうして骨からカルシウムが徐々に減り、骨がスカスカになっていきます。

骨粗鬆症を予防・治療していくためにも、カルシウムとカルシウムの吸収を助けるビタミンDを多く含む食品を取ることが大切です。しかし、栄養素に注意している人でも、カルシウムの摂取だけが不足してしまうのが現状です。

カルシウムは吸収されにくい栄養素ですが、良質のたんぱく質やビタミンDを多く含む食品と一緒に取ると吸収が良くなります。カルシウムは一日600ミリグラム、できれば800ミリグラム摂取したいものです。

最低限、毎回の食卓に200ミリグラムのカルシウム、目安として牛乳1本分、

豆腐なら半丁を加えてください。

カルシウムの取り方が少なくても、血液の中のカルシウムは必ず一定に保たなければなりません。血液中のカルシウムが下がると心臓の動きが悪くなり、脳の働きにも支障がでて、生命の危険が起ります。このため、副甲状腺ホルモンの分泌が増えて骨からカルシウムを取り出し、血液中のカルシウムを元に戻します。

このようにして何とか生きていますが、骨のカルシウムはだんだん減って骨粗鬆症になります。骨粗鬆症を予防・治療するためには、少なくとも一日1000～1500ミリグラム、つまり成人の栄養所要量の2倍以上のカルシウムが必要であることが、世界の専門家の一致した意見です。

また、カルシウムとあわせて、ビタミンDを多く含む食品をとりましょう。カルシウムが多く含まれている食品 乳製品、大豆製品、緑黄野菜、小魚・海藻など

ビタミンDが多く含まれている食品 牛乳、魚、レバー、バター、卵黄など

大網病院 ☎ (72) 1121